

わかぎ

★ 熊本県手話サークルわかぎ（略称：県わかぎ）は、
熊本・八代・玉名・人吉・天草・阿蘇・水俣・宇城・
荒尾・鹿本・菊池 以上11グループの共同体です。

発行日：平成18年3月5日

発行責任：会長 村本 宗和

編集担当：広報部会

事務局：

〒862-0950 熊本市水前寺6丁目9-4

熊本県聴覚障害者総合福祉センター内

熊本県手話サークルわかぎ 前瀬洋一

TEL 096-383-5587

FAX 096-384-5937

「ろう教育の今を知る」



午後一番には、熊本ろう学校の茶園浩志先生がDVDを使い、学校と児童・生徒の皆さんとの様子を、自ら大変流暢な手話で説明され、驚きのため息も聞こえました。

一方、狭いスペースに充分な幅のステージを設けることができず、またプロジェクターの使用手話通訳との照明のバランスの考慮が足りず、ゲストの方々や手話考など、至らない点も多々ありました。このことをお詫び申し上げます。

う努めたいと思います。今回の取り組みに活かして、皆さまがどうございました！ お世話をありがとうございました。この場に手話を借りて感謝申し上げます。

コロナ禍で、この研修会の総合的な運営が大変でした。しかし、この研修会の総合的な運営が大変でした。そこで、この研修会の総合的な運営が大変でした。



↑「プロジェクトY」 小野康二氏

去る一月二十九日の、平成十七年度県わかぎ研修会「ろう教育の今を知る」には、本当に多くのご参加、誠にありがとうございました。会場の九州ルート学院の研修室は、一七〇人余の参加者で研修した。会場の九州ルート学院の研修室は、一七〇人余の参加者で研修した。

古田弘子氏から、「モノンタナ」に絵本の手話による読み聞かせ次の一連の手話を、「ぐりとぐら」を、野田尚子かと渡邊百代氏のお二人に、実際に実演していただきまし

た。午後一番には、熊本ろう学校の茶園浩志先生がDVDを使い、学校と児童・生徒の皆さんとの様子を、自ら大変流暢な手話で説明され、驚きのため息も聞こえました。そして最後は白熱のパネルディスカッション！ ろう学校教諭の茶園浩志氏、親の会会長の植田修二氏、ろう児を持つ親として又県ろう協理事長として鶴田誠也氏が、また、難聴者・中失者協会会員の吉村香織氏、県ろう協会員の嶋田咲子氏が、それぞれの立場生き方から貴重な意見を交わし、途中休憩を挟むと、今度は会場からの質問も相次ぎ、急きよ時間延長となりましたが、それでも足りない程の本当に盛り沢山な研修会となりました。



↑ パネルディスカッション風景
「ろう教育の今（と昔）を知る」
正面がパネリストの方々。右端は
コーディネーターの小野康二氏

☆参加者の感想☆

学校での生活や勉強の仕方、取り組み等の現在のあり方と過去の状況での考え方など見えない部分が少しづかつたところです。先生の話はとても興味深い事が多いと同時に、私達ももう少し内側に入していく努力をし、手話に対しての取り組みをしたいと思います。聴覚障害者の思いの中で、相手の話に合わせないといけないとか人間関係などの心の葛藤などよくわかりました。私達にはまねのできない思いやり、神経の使い方など感心しました。

★仕掛け人から一言★

楽しかったですね。参加者の皆さんのが熱心さ！もつと勉強したかったといふ嬉しい声がたくさん聞かれました。今この熱い気持ちを持ち続けて何か具体的なことをすぐ始めてみたらどうでしょう。八代は早くも学習会を計画しました。“わかぎ”は常にろうあ者の皆さんと一緒にだから、やれることはやらねばならないことがたくさんあると思います。小野さんが言つてました。“サークルはたくさんの可能性を持つている”と。何をやるべきかは、具体的に勉強をしてみると見えてくるということがつくづく今回の研修を通して分かりました。それに、情提を中心としたネットワークのおかげで多方面の方々に協力していただき、つながることができたと思います。また広報部・交流部とも連携して研修部の役割も果たせた気がします。これからも仲良く頑張りましょうね！



若杉義光氏（正面中央）：午前の部

平成十七年十二月四日の日曜日、初めて荒尾・玉名合同で研修会をしました。講師は、福岡県の『宗像手話の会』会長そして福岡県手話通訳問題研究会会長でもある若杉義光氏と、奥様の智子氏です。

各地わがま運り⑦
〔荒尾わがま
&玉名わがまの巻〕

ご夫妻にお会いしたことなかつたのですが、以前より「何度お会いしても笑顔で、そして気さくにお話していただき素敵なお方です」と聞いていましたので、機会があれば是非お会いしてお話ししてみたいし、なかなか大会・研修会等参加できない者も、地元で開催すれば参加しやすいので、はと思っていましたところ、今回幸いにもその機会を得ることができました。

午前の部として、ご主人に『宗像手話の会』のサークルでの勉強方法や役員としての心構えなどをお話しいただきました。ユーモアたっぷりに話される講話は、本当に素直に聞き入ることができ、そして午後の部は、ゲームを交えてろうかるように努力したいと思いました。

参加した会員も、あつと少しお話を聞いたかったと言つていました。

また、これからも地元で研修会を開いてもらいたいとただきました。ユーモアの意見をもらい、役員として研修会等もつとめと開催できることは、大変ですがこれを機に研修会等もつとめと開催できます。

（荒尾わがま 松下）



若杉智子氏（正面中央）：午後の部

県内各地の耳の日イベント

3月3日の「耳の日」に合わせて、県ろう協はもちろん各地域においても熱く繰り広げられます。日程も内容も地域にあって様々・・・ということは、他の地域の様子ものぞきに行ってみるのも良いかもしれませんよ~！

県ろう協「耳の日ふれあい'06」

日時：3月5日（日）
10時～15時
場所：熊大教育センターC301号室
内容：講演「障害者自立支援法による手話通訳のあり方」
講師 全日ろう連
安藤豊喜理事長
講師を囲んでの懇談と取組み方針のまとめ
※TV電話体験コーナー

熊本地区

日時：3月21日（火）
場所：県身障センター
内容：午前) 講演
午後) アトラクション
手話劇 等
主催：熊本市ろう者福祉協会・熊本市わかぎ

菊池地区

日時：3月12日（日）
10時～14時30分
場所：西合志ふれあい館
同町保健福祉センター
内容：①講演「障害者自立支援法とこれからの聴覚障害者の生活はどうなるか」
講師 松永 朗氏
②体験発表（支部、各わかぎ、受講生）
③支部及び手話サークル紹介
④展示（福祉機器、手話本、DVD等）
実施主体：県ろう協菊池支部
阿蘇わかぎ
菊池わかぎ

荒尾地区

日時：3月5日（日）
10時～
場所：荒尾市中央公民館
内容：「中央公民館まつり」
同館の自主グループ活動の一年間の成果発表として毎年開催。
今年は荒尾の民話の中から「猿はじめ」の手話劇を披露！
主催：荒尾市教育委員会

天草地区

日時：3月12日（日）
10時～15時
場所：ジャスコ本渡店2F
内容：①桃太郎いざ鬼ヶ島へ
②聞こえない状態でのコミュニケーション疑似体験
③ミニ手話教室
④花の種プレゼント
⑤展示 等
主催：天草わかぎ
協力：県ろう協天草支部

県南地区

日時：2月26日（日）
13時30分～15時30分
場所：ジャスコ八代店
内容：①手話ダンス
②寸劇
③交流ゲーム
④手話歌 等
主催：県ろう協県南支部
共催：八代わかぎ・水俣わかぎ

県中央地区

日時：3月19日（日）
13時～16時
場所：クレア2Fホール（嘉島町）
内容：①手話による意見発表（ろう協・わかぎ・受講生等）
②ミニ手話教室
③手話による紙芝居（絵本）
④展示 等
⑤手話ダンス
主催：県ろう協県中央支部
宇城わかぎ

かずかめの本

正直言って本の苦手な私が、次々と読んでしまいました。

河崎先生の実体験に基づいた内容です。臨床心理士として、聴覚障害者のカウンセリングをしながら抱いた疑問や、気付いた「手話の大切さ」などが書かれていて、心に深く残り、考えさせられました。

急げ心でいっぱいの私に、良い刺激をくれた本でした。おすすめです！！

書店で注文すれば、送料無料で購入できると思います。

(八代わかぎ 太田家)

「きこえない子の 心 ことば 家族」

河崎佳子著 (明石書店)

1,200円



感謝！

1/29県わかぎ研修会講師の
古田弘子様より寄付金を
頂きました。今後の貴重な活動資金と
して本会計に繰り入れさせていただきます。

ありがとうございました！

熊本市わかぎのホームページご覗き
[http://wakagi.her.jp/html/
Index.htm](http://wakagi.her.jp/html/Index.htm)
是非のぞいてみてね！

県わかぎ
平成18年度
交流会&定期総会
の予告です

い感んど一せもルアししき
き動だの県とん睡。のたたまと
たをとパわこで眠感荒が成しり
い、再ワカラし不動川、績たノ
で今確しきでた足し静最は。オ
す後認が研、かのま香後収日リ
ねのしわ修感？毎し選にめ本ン
活まか会動日た女ら選ピ
動しげ」とでね手子れ手ッ
にたに。いは。がフま団ク
繁。ああえあ皆金イせはが
げこつればりさメギン期閉
てのたほ、まんダユで待幕

編集後記

【交流会】
6/17 (土) 7:30pm~
【総会】
6/18 (日)
《会場》
いずれも、人吉「くまがわ荘」
★参加費
交流会&1泊&朝食付き
¥9,000